

2017年1月31日

## ドイツ OVALO GmbH 買収に関するお知らせ

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小谷 和朗）は、OVALO GmbH（本社：ドイツ リンブルク、代表：Siegmar Gilges、以下「OVALO 社」）の株式100%を取得する株式譲渡契約を INTERGLOBAL Industrieholding GmbH（本社：ドイツ エップシュタイン、代表：Reinhard Ernst、以下「INTERGLOBAL 社」）と締結しました。買収価格は82百万ユーロで、必要な手続きを経たうえで、2017年2月末に買収を完了する予定です。

### 1. 本件買収の目的

当社は2014年度からスタートした3か年中期経営計画において「Market Creation」「Technology Innovation」を全社総合戦略の主軸として“利益ある成長”を目指しており、その方針に基づき、今回の買収を決定しました。

「Market Creation」分野では、欧州市場での地歩の確保がその狙いの一つです。欧州市場は、当社にとって重要なマーケットであり、欧州域内での拠点強化は従来から優先度の高い課題でした。当社は、自動ドア市場攻略に向け、まず2011年にスイス Gilgen 社の買収を通じて欧州自動ドア市場での製造・販売基盤を確立し、世界でもトップクラスのシェアを確保するに至りました。一方、当社製品の他分野では鉄道車両用機器事業や商用車用機器事業において小規模な買収を実施したものの、欧州における競争基盤をさらに整備する必要性を感じていました。

「Technology Innovation」分野では、お客さまへのトータルソリューション提供の面から、従来のコンポーネント単体の供給からシステム化への要請も強く、その基盤となるメカトロニクス分野の強化が喫緊の課題となってまいりました。メカトロニクスの製品開発には、電子制御技術が不可欠な要素であり、システム製品に求められる複雑化・高性能化に対応するためのモデルベース開発<sup>(注1)</sup>や、それに伴うRCP (Rapid Control Prototyping)<sup>(注2)</sup>、HILS (Hardware In the Loop Simulation)<sup>(注3)</sup>などの開発プロセス確立が必要となっていました。

以上を背景に、欧州における製造販売拠点・開発拠点を探索してまいりましたが、今般、これらの要請を満たす企業として、OVALO社を買収することとしました。

### 2. 期待されるシナジー効果

当社は商用車用機器事業において、関連事業の買収や自動運転プロジェクトへの参画などを通じてシステム化・メカトロニクス化を進めています。また、精密減速機事業においても、海外市場を中心にメカトロニクス化の要望が高まりつつあり、その対応を進めています。

本件買収を通じて、OVALO 社が持つモーター、コントロールユニット一体製品の開発能力を活用することにより、当社製品のシステム化・メカトロニクス化が加速するものと確信しています。

また、OVALO 社拠点には拡張余地があり、新たな欧州開発・生産拠点設立に活用することも将来的に検討してまいります。

### 3. 買収対象会社・株式取得の相手先の概要

OVALO 社は、INTERGLOBAL 社代表の Reinhard Ernst 氏により、自動車産業向けの波動歯車機構減速機によるシステム製品の開発・製造・販売を目的として、2006年にドイツ Harmonic Drive AG の子会社として設立されました。主にシャシー・システムとエンジン・システム関連製品に強みを持ち、ドイツ自動車メーカーの Tier 1 サプライヤーとして、その技術力は高い評価を受けています。

また、OVALO 社は、adcos GmbH（以下、「adcos 社」）の株式を 60% 保有しており、本件買収に伴い adcos 社も当社の連結対象となる予定です。同社は、自動車用メカトロニクス製品開発の根幹となるモデルベース開発や RCP 向け開発用 ECU (Electric Control Unit) (注4) サプライヤーとして、ドイツ内外の主要自動車メーカー・サプライヤーと取引があり、高い評価を得ています。

#### OVALO 社および adcos 社の概要

社名	OVALO GmbH	adcos GmbH
代表者	Siegmar Gilges	Stephan Klotzbach Daniele Pagin
所在地	Limburg, Germany	Köln, Germany
設立年	2006 年	2010 年
資本金	2,000,000 ユーロ	973,000 ユーロ
従業員数	105 名	11 名
主要顧客	ドイツ主要自動車メーカー等	
取扱製品	シャシー・システム、エンジン・システム用部品等	開発用 ECU、ソフトウェア等
大株主 (保有比率)	INTERGLOBAL 社 100%	OVALO 社 60%
単体売上高 ※2016/12 期見込み	約 20 百万ユーロ	約 2 百万ユーロ

#### INTERGLOBAL 社の概要

社名	INTERGLOBAL Industrieholding GmbH
代表者	Reinhard Ernst
所在地	Eppstein, Germany
設立年	1998 年
事業内容	有価証券・不動産等の保有・管理

#### 4. 買収価格

買収価格：82百万ユーロ\*

\* INTERGLOBAL社からOVALO社に対する貸付債権の取得価格を含む。

#### 5. 日程

株式譲渡契約締結日：2016年12月21日

株式取得予定日：2017年2月末

#### 6. 今後の見通し

株式取得は、2017年2月末を予定しており、本株式譲渡契約に伴う2016年12月期連結業績および財務状況への影響はありません。

今後の業績に関し、重要な影響が見込まれる場合には、速やかに開示してまいります。

以上

(注1) モデルベース開発：

ハードウェアやソフトウェアをコンピューター上で再現し、コンピューターシミュレーションで動作を確認しながら開発する手法です。

ソフトウェア等を実行可能な仕様書として扱うことができ、開発効率・開発品質向上に効果を発揮します。

(注2) RCP (Rapid Control Prototyping)：

モデルベース開発で再現したソフトウェア等を開発専用のコンピューターにダウンロードし、実際に動かすことにより確認、改良する開発手法です。

実機搭載用コンピューターを設計・製造する前に、ソフトウェア等の妥当性を検証することが可能で、開発効率・開発品質向上に効果を発揮します。

(注3) HILS (Hardware In the Loop Simulation)：

実際のハードウェアやコンピューターシミュレーションで電気信号等に再現したハードウェアを実機搭載用コンピューターに接続して、動作を確認する開発手法です。

物理的な試験が困難な事故や故障時の動きなど、多岐にわたる状況を想定したソフトウェア機能、フェールセーフ機能等の妥当性を、シミュレーションにより検証することが可能で、開発効率・開発品質向上に効果を発揮します。

(注4) 開発用ECU (Electric Control Unit)：

実機搭載用コンピューターを設計・製造する前に、RCPで使用する開発専用のコンピューターです。